

◎特集 1 / 県立考古博物館開館30周年記念特別展

「インカ帝国展～マチュピチュ「発見」100年～」

◎特集 2 / 県立博物館企画展「黄金の国々ー甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山ー」

- 「いきいき教育地域人材活用推進事業」の紹介
- 平成26年度インターハイの開催に向けて準備を進めています！！
- 富士山の世界文化遺産登録に向けて
- 県立美術館特別展「大倉集古館名品展 豪快なる大倉財閥の美術コレクション」
- 県立文学館特設展「歿後五十年 飯田蛇笏展」
- ミュージアム甲斐・ネットワーク／フジヤマミュージアム、八ヶ岳泰雲美術館
- らくがき 韮崎市立甘利小学校 長田 孝 教諭
富士吉田市立吉田中学校 松永 二郎 教諭
- 考古博物館「第10回わたしたちの研究室」の作品募集をしています！！
- 学校紹介／山梨市立岩手小学校、市川三郷町立市川南中学校
- 総合教育センター情報／みんなの笑顔のために
- 新教育委員長・新教育委員就任挨拶
- 県立図書館／新県立図書館では、授業に使える本をセットでお貸しします。
- 山梨の文化財／国指定無形民俗文化財 吉田の火祭
- 主な行事予定



特集1

開館30周年記念特別展 インカ帝国展 ～マチュピチュ「発見」100年～

— 県立考古博物館 —

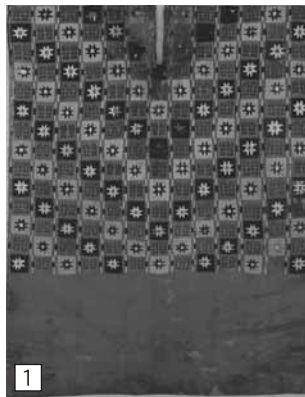
山梨県立考古博物館は、今秋十一月三日に開館三十周年を迎えます。毎年、開館を記念して、秋には特別展を開催しています。今回で三十回目となる節目の特別展は、インカ帝国展 ～マチュピチュ「発見」一〇〇年～ を開催します。

総点数約一六〇点のインカの考古遺物は、その多くが日本初公開になります。その一端を紹介しましょう。

インカ帝国とはどのような文明だったのか。その全貌を紹介する大規模な展覧会は、日本では開催されたことはありませんでした。十五世紀半ば～十六世紀前半に繁栄した南米最大にしてアンデス文明最後の国家、インカ帝国。車輪も文字も鉄器も持つことはなかった彼らが、なぜ多数の巨大建造物を擁する大文明を短期間に築くことができたのでしょうか。なぜそれほど高度な文明が、一握りのスペイン人の侵略の前にあっけなく敗北したのでしょうか。「太陽の王」とはどのような存在だったのでしょうか。考古学・人類学・歴史学などの分野の最新研究をもとに、インカ文明の全貌に迫っていきます。

【考古学】

遺跡から発掘されたインカ帝国の工芸品や儀式に使われた遺物。そこにはインカ帝国の象徴的な文様や当時の様子を表す図像が残されていました。デザインを読み解くことにより解明されるインカ帝国の王族の姿。発掘された遺物から考古学の視点でインカの謎を解き明かします。



1

【人類学】

インカ帝国の特徴であるミイラ信仰。インカ王はミイラとなった後も生前と同じように権力を持ち続けた…。さらに、帝国の辺境にもミイラ信仰は浸透していました。人類学の視点から、最新科学を用いてミイラに隠されたミステ



2

リアスなインカ帝国をひも解いていきます。

【歴史学】

悲劇のラストエンペラー、アタワルパ。たった一六〇人ほどのスペイン軍によってインカ帝国は滅ぼされ、アタワルパは処刑された。歴史学の視点からスペイン人が書き残したクロニカ（記録文書）や絵画資料を読み解くことにより、インカ帝国の最後と、スペイン人によって植民地化されたインカ帝国の姿が浮かび上がってきます。



3

- ① 《男性用貫頭衣チュニック》十五世紀中頃～一五三二年ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
- ② 《ミイラ包み》十五～十六世紀
レイメバンバ博物館
- ③ 《銀製十字架》十七世紀
オズマ美術館

インカの謎が、やってくる

◆展示の構成

インカ帝国展は、四部に分けられ構成されています。今度は、各部を概説していきます。

第一部 帝国の始まりとその本質

鉄器も車輪も持つことがなかったインカとはどのような文明だったのか。インカ王と王に仕える人々を

始め、太陽信仰、巨大な石造建築、農耕や芸術などインカ帝国を支えてきた本質に迫ります。



第二部 帝国の統治

支配した地方へ服従を約束させる《インカと乾杯》。人口移動制度の《ミトマク》。総延長四万キロメートルに及ぶ『インカ道』。南北に四千キロメートルにも広がる地域を支配したインカ帝国の特異な仕組みに迫ります。

第三部 滅びるインカ、よみがえるインカ

一五三三年にスペイン人のフランシスコ・ピサロにより、最後のインカ帝国皇帝アタワルパが処刑され、帝国は崩壊したが、「インカ」は消滅しなかった。「植民期インカ」とでも呼ぶべき独自の文化を育んだインカの姿に迫ります。



第四部 マチュピチュへの旅

一九一一年七月二十四日ハイラム・ビンガムがマチュピチュを「発見」したことでインカ帝国の名は、世界に広がった。「空中都市マチュピチュ」は一体誰が何のために建設したのか。遺物から五百年前のマチュピチュの実態に迫ります。

●3Dスカイビューシアター

標高二四〇〇メートルの断崖に、インカ時代の栄華を残す「天空の都市」へと貴方をご案内します。「見張り小屋」から眺める遺跡と周りの山々、見事なアーチ型石組建築の「太陽の神殿」、現地でも見る事のできない上空からの姿や五〇〇年前の在りし日の様子など、実写映像とバーチャルリアリティーを組み合わせる日本初

の試みで、時空を超えるマチュピチュの旅を体感していただきます。世界で初めての広範囲に及ぶマチュピチュ遺跡の三次元計測による立体形状をもとに、これまでにない圧倒的没入感のあるシアターを展開します。俳優の玉木宏さんのナレーションでおおくりします。

◆インカ帝国展のご案内

会 期：平成二十四年九月十八日（火）～

十一月十四日（水）

休館日：毎週月曜日 ただし、十月八日（体育の日）は開館し、翌九日（火）が

休館になります。

開館時間：午前九時～午後五時

（入館は四時三十分まで）

入場料：一般、大学生 一〇五〇円

小・中・高校生 四二〇円

年間パスポート制度のほか、割引制度があります。詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ：山梨県立考古博物館

電話 〇五五―二六六―三八八一

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouto-hak/>

[4] 《小型女性人物像》（部分）

十六世紀初頭 トウクメ遺跡博物館

[5] 《銀製酒杯アキリヤ》十七世紀

マリア・モランテ考古学博物館

特集 2

企画展「黄金の国々―甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山―」

― 県立博物館 ―

この夏はオリンピック・パラリンピックで盛り上がったことと思いません。オリンピックで注目されるポイントのひとつはメダルの獲得数でしょう。そして、競技の優勝者に贈られる「金メダル」は最高の栄誉とされます。このことは、人々が暗黙のうちに、金を最も価値の高い金属であると評価したと言い換えることができます。

このように金は、時代・地域を問わず人々に貴ばれた金属のひとつであり、古くから装飾品や貨幣などに用いられてきました。現代では、工業製品―身近なところでは携帯電話の部品―にも使用されるなど、私たちの生活に欠かせない金属にもなっているのです。

この金が、かつて山梨で盛んに生産された時期がありました。戦国時代から江戸時代の前半にかけての時期に、甲斐国では各地で金山の開発が進められ、多くの金を産出したと考えられます。それらは武田氏発展の基盤となり、後に「甲州金」という甲州独自の貨幣が成立することにもなります。

甲斐の金山の中でも、黒川金山（甲州市）と湯之奥金山（身延町）は、考古学・文献史学・民俗学などの総合調査が進められました。調査の結果、両金山では山内にテラスと呼ばれる平坦地を数多く造成し、そこで山から掘り出した鉱石を金にする作業を行っていたことがわかりました。またこの地は金山で働く人々が生活する場にもなっており、最盛期には多くの人でにぎわっていたことと考えられます。

金山で働く人は「金山衆」と呼ばれていました。金山衆は金山での作業だけでなく、武田氏に従って合戦に参加し、敵の城を掘り崩すなどの手柄を立てました。武田氏は、金山衆が持っている、金山の坑道を掘る技術などを城攻めに利用したのです。

このように甲斐の金山は大きな発展を遂げましたが、江戸時代にはいと金の産出量が減少し、ついには金山の廃絶に至ります。人々は金山を離れ、新たな生活の場を求めて他国へ移る人もありました。

甲斐の金山で産出が減少していたころ、多くの産金で賑わいを見せていたのが、佐渡の金銀山でした。佐渡では、平安時代から砂金の採取が行われていましたが、金山の開発は、戦国時代末期に発見され、江戸時代に本格的に開発された相川金銀山に始まります。佐渡は日本屈指の金銀の産地となり、幕府の直接支配のもと、金銀の生産が進められました。そのため佐渡には多くの労働力が必要となり、全国から人々が集まりました。

佐渡へ移った人々の中には、甲斐出身者も多く、金銀山の有力な担い手となりました。また、金山を支配する佐渡奉行には、大久保長安・鎮目惟（これ）明（あき）・伊丹康勝など、甲斐出身者・旧武田家臣が多く就任しており、佐渡と甲斐とのつながりは大変深かったことがうかがわれます。日本屈指の金銀産地となった佐渡の金銀山は、甲斐出身の人々によって支えられていたと言っても過言ではありません。



佐渡国金銀山図（部分）新潟県立歴史博物館蔵

金山では、金を生産するために様々な技術が用いられていました。測量して坑道を掘り、鉱石を採掘する技術、山から湧き出る水を坑道の外へと排出する技術、鉱石を細かく砕き、僅かにある金の粒子を取り出す技術、不純物を取り除いて金を精製する技術などがあります。金山は当時の先進技術が結集する場でもあったと言えます。近年県立博物館では、このうちの金を精製する技術について、科学的な調査を進めており、企画展でもその成果の一部を紹介する予定です。

金山で生産された金の多くは、貨幣として製造され、日本全国に流通しました。江戸時代には幕府が製造する貨幣に統一されますが、甲斐は例外的に甲州金という独自の貨幣の通用が認められました。展示では、甲州金をはじめ、戦国〜江戸時代に製造された金銀貨の数々を一堂に紹介するとともに、金山で作られた金がどのような形で貨幣（小判）になるのか、その製造工程も詳しく紹介致します。

このように、戦国時代から江戸時代にかけて多くの金を産出した甲斐や越後・佐渡の金銀山は、当時日本における「黄金の国々」であったと言えます。山の恵みのひとつである鉱物資源を利用し、巧みな技術で金を生産してきた人々の営みや、金山を通じて培われた甲斐と佐渡との結びつきなどについて、最新の研究成果を交えながらご紹介致します。ぜひ、この機会に博物館へご来館ください。

○開催期間

平成二十四年十月六日（土）〜十二月三日（月）

※期間中に展示替えがあります。

○休館日

毎週火曜日（十一月二十日（県民の日）は開館します）

○観覧料

一般 一、〇〇〇円（八四〇円）
 高校・大学生 五〇〇円（四二〇円）
 小・中学生 二六〇円（二一〇円）

常設展十企画展共通券

一般 一、二四〇円
 高校・大学生 五八〇円
 小・中学生 二九〇円

※（ ）内は二〇名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引料金です。

※山梨県内在住の六五歳以上の方、障害者の方（およびその介護をされる方）、土曜日における小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童・生徒は無料です。

※無料・割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。

○主なイベント

・記念講演会

十一月四日（日）午後一時三十分〜四時

会場 山梨県総合教育センター 大研修室（博物館となり）

・かいじあむ講座「金銀生産技術と鉱山絵巻」

十月二十一日（日）午後一時三十分〜三時

会場 博物館生涯学習室

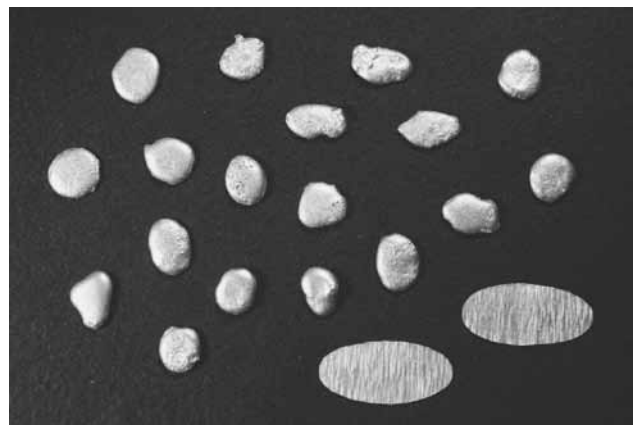
・かいじあむ子ども工房「砂金すくい体験しよう」

十一月二十五日（日）午前十時三十分〜午後三時

会場 博物館ロビー ※実費二〇〇円が必要です。

○お問い合わせ

山梨県立博物館 TEL 〇五五―二六一―二六三二
 FAX 〇五五―二六一―二六三二



甲州金 山梨県立博物館蔵

「いきいき教育地域人材活用推進事業」の紹介

— 義務教育課 —

1 事業の目的

これからの学校教育においては、児童・生徒の体験的な学習の充実を図り、児童生徒に「生きる力」を育んでいくことが求められています。

本事業では、児童・生徒がいきいきと学び、学校教育の活性化に資することを目的とし、幅広い知識・経験や優れた技能をもつ、地域在住の専門家や社会人を学校に招いています。そこでは、学校の年間指導計画のもと、それぞれの専門的分野の講義や実技指導などを通して、豊かな学びが実現されています。

います。各教科や総合的な学習の時間、道徳そして、小学校外国語活動の授業において、各学校で特色ある授業づくりが進められています。

実際の授業では、地域の特色や特性等を生かした体験的な学習を展開しています。総合的な学習の時間における米づくりや家庭科での郷土料理づくり、音楽科における和楽器の演奏指導や小学校外国語活動での英会話活動など、幅広い分野で授業が行われており、子どもたちの学びの世界が広がっています。

○活用回数や活用校数について

次の表に示されるように百九十八校の小・中学校で、のべ四百四十八名の講師の先生方が授業を行っています。

各学校では、講師の先生と事前に綿密な打ち合わせを行い、よりよい授業づくりをめざしています。

そこでは、普段の授業とは違った視点をもつ特色ある活動に対して、児童・生徒たちが、自ら進んで取り組み、積極的に授業を受けようとする学びの姿が見られています。

3 今後の取組について

この事業は、長年にわたり継続している活用の要望の高い事業です。今後、さらに活用する学校の割合が増え、いろいろな授業実践に取り組むことができるように内容を充実させていきます。

実践校の様子については、山梨県教育委員会のホームページで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

2 事業の内容

本事業は、平成九年度より行われており、本年度で十六年目を迎えた事業で、県下の小・中学校及び特別支援学校の小・中部の児童・生徒を対象に実施されて



<http://www.ypec.ed.jp/gimukyoo/>

平成26年度インターハイの開催に向けて準備を進めています!!



きら
～煌めく青春 南関東総体 2014～

— 全国高校総体推進室 —

平成26年夏に南関東四都県（山梨県、千葉県、東京都、神奈川県）で全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が開催されます。

平成23年度からはブロック別の開催となりましたが、本県では、単独で実施した平成8年度以来の開催となります。

1 大会概要

- (1) 開催時期 平成26年7月下旬～8月中旬
- (2) 実施競技 30競技（山梨県8競技）
- (3) 山梨県開催競技

陸上競技・卓球	甲府市
サッカー（男子）	韮崎市・甲府市・北杜市 甲斐市・昭和町
ボート・カヌー	富士河口湖町
自転車競技	笛吹市
ホッケー	南アルプス市・甲府市
ウエイトリフティング	山梨市

2 山梨県実行委員会

平成26年度インターハイの開催に向け、去る6月6日に山梨県実行委員会を設立し、小瀬スポーツ公園武道館第一会議室において、第1回会議を開催しました。

また、この席上で、高校生が制作した「実行委員会事務局看板」及び「設置台」の受納・披露を行いました。



揮毫者

山梨高校 書道部 3年生

岡 泉美さん

看板・設置台制作者

峡南高校 建築インテリア科 3年生

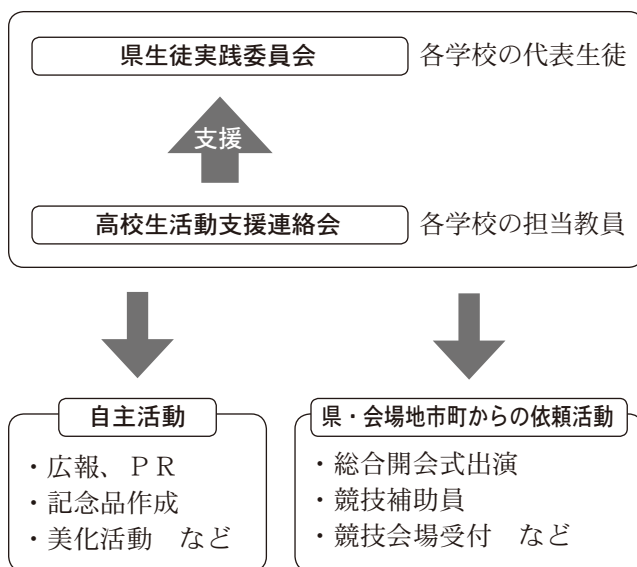
高橋 一磨さん・内藤 泰人さん

3 高校生活動

大会の主役である県内の高校生が、多くの感動や達成感を味わうことができるよう、会場地市町等と連携しながら、広報・PR活動や大会運営補助活動などに取り組んでいきます。

本年秋には、県生徒実践委員会を設立し、詳細な活動内容の検討を行っていきます。

県高校生活動の展開イメージ



*活動内容は、先催県の例です。

平成26年度インターハイを盛り上げ、成功させるため、各学校の教育活動の場面（学園祭等）で、インターハイを題材とする取り組みを行っていただければ幸いです。

皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

大会公式ホームページ <http://www.2014soutai.jp/>

2014 総体

検索

富士山の世界文化遺産登録に向けて

— 学術文化財課 —

富士山を世界文化遺産に

神聖で荘厳な姿の富士山は、山城から山頂への登拝及び山麓の霊地への巡礼を通じて、富士山を居処とする神仏の霊力を獲得し、自らの擬死再生を求めるという独特の性質を持つ富士山信仰を育み、また、海外の芸術家にも影響を与えた浮世絵など、多くの芸術作品に取り上げられてきました。

この信仰の対象・芸術の源泉である富士山は、日本と日本文化を象徴する「名山」として世界的な地位を確立してきました。

山梨・静岡両県及び関係市町村は、私たち日本人にとってかけがえのない宝物である富士山を人類共通の財産として未来に引き継いでいくため、富士山の世界文化遺産登録を推進していきます。

これまでの経緯

富士山は、平成十九年一月、世界遺産としてユネスコ（国連教育科学文化機関）へ推薦する候補を記した我が国の「暫定リスト」に記載され、平成二十三年九月には、国において「富士山」を世界文化遺産に推薦することが決定されました。山梨・静岡両県及び関係市町村においては、世界遺産の評価基準に基づいた富士山の

価値の証明と富士山を適切に保護・保全する方針を定めた保存管理計画の策定に取り組み、平成二十四年一月に日本政府がユネスコへ推薦書を提出しました。

普及啓発活動

昨年十二月に二月二十三日を「富士山の日」とする条例を制定したことを踏まえ、行政と民間の力を結集する「両県県民会議」を発足させるとともに、県民運動を盛り上げるためにポケットガイドや富士山型ステッカーを配布したり、構成資産周辺での清掃活動の実施等登録を目指した各種活動が行われています。

今後の予定

ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査を経て、来年六月の世界遺産委員会において、登録の可否が審議されることとなっています。

山梨県内の構成資産

富士山域（山頂の信仰遺跡群、吉田口登山道、北口本宮富士浅間神社、西湖、精進湖、本栖湖）

河口浅間神社



中ノ倉展望地からの富士山と本栖湖

富士御室浅間神社
御師住宅（旧外川家住宅、小佐野家住宅）
山中湖
河口湖
忍野八海（出口池、お釜池、底抜池、銚子池、湧池、濁池、鏡池、菖蒲池）
船津胎内樹型
吉田胎内樹型

特別展「大倉集古館名品展 豪快なる大倉財閥の美術コレクション」 — 県立美術館 —

明治・大正期日本の産業発展に多大な功績を残した大倉喜八郎。大倉集古館は、喜八郎が大正6年(1917)に設立した、日本で最初の私立美術館です。その収蔵品の中から、国宝《隨身庭騎絵巻》や横山大観の代表作《夜桜》をはじめ、鎌倉・室町時代の仏教絵画、江戸時代の屏風や工芸品、近代の新しい息吹のする日本画、さらには中国・朝鮮美術など国宝・重要文化財を含む90点をご紹介します。



横山大観《夜桜(左隻)》大倉集古館蔵
展示期間：10月13～21日、11月20～25日

大倉喜八郎(1837～1928)は、鯉節店の奉公から身を起し、日本最初の商社大倉組商会をはじめ、土木、電気、鉱業、食糧品、ホテルなどの様々な会社を設立し、一代で大倉財閥を築き上げ、日本の近代化を実業の分野で支えました。教育・文化、福祉においても多大な功績を残しましたが、中でも大倉集古館は、喜八郎の文化的貢献を代表する存在のひとつです。明治維新後、日本の貴重な美術品や仏像が破壊され、海外に流出していく状況を憂い、これをくい止めるべく私財を投じて蒐集し、広く一般に公開するために建設されました。さらに長男喜七郎(1882～1963)は、日本美術を世界に紹介するため、昭和5年(1930)にローマにおいて横山大観、川合玉堂らの作品を展示する大規模な日本美術展を開催し、喜八郎の意志を継ぎました。

大倉集古館の収蔵品は、大倉喜八郎・喜七郎父子が美術の擁護に注いだ情熱のたまものであり、現在そして将来に託された文化遺産といえます。本展は、

日本と東洋が育んだ東洋の美の精華を間近にご覧いただけるまたとない機会です。

◆会期・開館時間・休館日

10月13日(土)～11月25日(日)
午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
休館日：10月15日(月)、22日(月)、11月19日(月)
展示替えのため特別展のみ休み：11月5日(月)
*前期・後期で大幅な展示替えがあります。

◆観覧料

一般1,000円、大高生500円、中小生260円
*小・中・高等・特別支援学校生は土曜日無料。

◆主なイベント

- ・記念講演会
日時：10月14日(日) 午後2時～
講師：佐藤道信氏(東京藝術大学教授)
- ・記念コンサート
大倉喜七郎が作った管楽器オーケストラ演奏
日時：11月3日(土) 午後2時～

◆お問い合わせ 電話 055-228-3322



前嶋宗祐
《鶏頭小禽図》
大倉集古館蔵
展示期間：
11月6～25日

特設展

「歿後五十年 飯田蛇笏展 くろがねの秋の風鈴鳴りにけり」

— 県立文学館 —

近代俳句を代表する俳人飯田蛇笏（一八八五～一九六二）が亡くなって、今年、五十年目を迎えます。本展では、その足跡を改めてたどり、作品の魅力を紹介します。

蛇笏（本名 飯田武治^{たけはる}）は、一八八五（明治十八）年、山梨県東八代郡五成村^{ごせいむら}（のちの境川村、現・笛吹市境川町）に生まれました。早稲田大学入学の頃から俳句に打ち込み、高浜虚子に注目されます。大学を中退して帰郷、飯田家の跡取りとなり生活の基盤を境川村にさだめた後も俳句への情熱は衰えず、大正時代に入ると虚子主宰の俳誌「ホトトギス」へ「芋の露連山影を正うす」などの作品を発表。全国にその名を知らしめました。



一九一五（大正四）年に愛知県で創刊された俳誌「キラト」を「雲母^{うんも}」と改め、編集・発行人となり、全国屈指の雑誌に育てました。四十七歳で第一句集『山廬集^{さんろしゅう}』を刊行した頃には、俳壇に確固とした地位を築き、随筆や評論にも活躍するようになります。

昭和十年代後半から終戦をはさんだ二十年代前半頃までは、次男の病死、長男の戦死、三男の戦病死、戦争による「雲母」の休刊という苦難の時期が続きましたが、終戦後「雲母」を復刊、悲しみを乗り越えた蛇笏は、最晩年に至るまで創作意欲が衰えることがありませんでした。蛇笏の俳句は、屹立する高峰にたとえられ、「をりとりてはらりとおもきすすきかな」「くろがねの秋の風鈴鳴りにけり」などの数多くの名句が今日も愛誦されています。俳人だけでなく、小説家の芥川龍之介、歌人の若山牧水、画家の岸田劉生など、蛇笏の周辺には多彩な人々が集まり、広い文芸の交流が生まれました。

展示室には貴重な蛇笏の原稿や書、書簡、愛用品をはじめ、関係著作、折々の写真などを展示します。

◇ 会 期 九月二十九日（土）

十一月二十五日（日）

休館日 十月一日、九日、十五日、二十二日、十一月十九日

◇ 観覧料 常設展観覧料で御覧になれます

一 般 三〇〇（二五〇）円

大・高生 二一〇（一六〇）円

中・小生 一〇〇（八〇）円

※（ ）内は二十名以上の団体料金、宿泊者割引料金です。

※十一月二十日、県民の日は観覧料無料。

※小・中・高等・特別支援学校生は土曜日は無料。六十五歳以上の方、障がい者及び介護者は無料。

◇ 関連イベント

九月三十日（日）文学講演会「裏口に展がる世界」

宇多喜代子（俳人）

十月七日（日）鼎談「飯田蛇笏を語る」

浅井一志・和田知子・廣瀬町子（俳人）

十一月一日（木）年間文学講座「山廬を訪れた人々

— 飯田蛇笏をめぐる文人たち — 高室有子（当

館学芸員）

* 以上は申し込みが必要です。なお、会期中、閲覧室（入場無料）では、蛇笏の著書・関係図書・雑誌を手にとってご覧いただくコーナーを設置します。

ミュージアム甲斐・ネットワーク

～県内博物館等の連携による活動の活性化と利用者サービス向上を目指して～

— 学術文化財課 —

県内の美術館、博物館等が、相互に連携して活性化を図り、活動の充実や利用者へのサービスの向上を目指す「ミュージアム甲斐・ネットワーク」会員施設の紹介をします。

フジヤマミュージアム（富士吉田市）

フジヤマミュージアムは、東山魁夷、林武など著名画家が描いた『富士山』の絵画専門の美術館です。

画家一人一人がただひたすらに富士山と向き合い、独自の視点で富士に挑んだ作品を常時約70点展示しています。

当館では、展示絵画を通じて「富士山がいかに日本人にとって大切なもので、昔から今日まで愛され、親しまれているか」を皆様に感じて頂き、富士山の文化的・芸術的価値を再度確認して頂くきっかけになればと願っています。

住 所：山梨県富士吉田市新西原5-5597-103

電話番号：0555-22-8223

開館時間：平日 10時～17時30分
土曜日 10時～20時30分
日曜日 9時～20時30分

休館日：不定休

入館料：大人 1,000円、
大学・専門学校生 800円
高校生 600円、中学生 500円
小学生以下 無料

駐車場：無料（普通180台、バス5台）
※隣接するハイランドリゾート ホテル&スパの駐車場をご利用下さい

U R L：http://www.fujiyama-museum.com/



美術館外観



白を基調とした館内とガラス張りの天井



映像ホールでは、大画面で富士山の雄大な自然美をお楽しみ頂けます

八ヶ岳泰雲書道美術館（北杜市長坂町）

八ヶ岳泰雲書道美術館は、JR甲斐小泉駅すぐ裏手の3階建ての建物。中国風の円形門を入ると太陽・月・地球を表す3つの丸窓のある近代的な建物。1階と2階は展示室、3階は研修室となっており、朱塗りの中国風あずま屋が設けられている。平成2年9月、故柳田泰雲が代々続く柳田家の書作品を収蔵するために自宅横に建てたもの。江戸時代の儒学書家正斎そして父 泰麓、母 蘭翠、三代目泰雲と受継がれ、最も至難とする楷書を得意とする書道至上まれな家系である。本格正統派の作品から、同館長 青蘭の書を立体的に表現したホログラム作品を展示。

主に楷書を最も得意とした泰雲の小楷紺紙金泥作品は芸術性の高い名品です。

代表作 楷書「楽毅論」「離騷経」「般若心経」、行書「蘭亭序」

美しい自然の中に建てられた明るく、ゆったりとした空間の中で珠玉の作品をご観覧ください。

住 所：北杜市長坂町小荒間1919

電 話：0551-32-6277 FAX 0551-32-5851

入館料：一般1,000円（10名以上割引有り）
学生（高校生以下）500円（10名以上割引有り）

開館時間：10時～16時

休館日：水曜日（8月は無休）、12月～3月

駐車場：無料（普通20台）

交通案内：JR小海線甲斐小泉駅下車徒歩5分。中央高速 小淵沢ICおよび長坂ICより15分。



美術館外観



聖寿萬歳



らくがき

つちのこ「孝」
長田 孝

・・・話は変わるが、6年2組には「つちのこ」がいる。「つちのこ」を知っているだろうか。日本のどこかの村で、見つければ賞金が出るという話もある。しかし、それとは違うようだ。

このクラスの担任の名前は「・・・孝」という。「孝」という字、よく見て欲しい。おわかりだろうか。「土」「ノ」「子」あわせると「孝」となる。なるほど、「つちのこ先生」うまいことを言ったものだ。本人すら気付かなかったことを。もちろん思いついたのは6年2組の子どもたち…。

20年前の新採の頃、創立40周年を迎えた北新小学校の記念誌に書いたもので、何とも懐かしいものです。

この4月、私は3年3組の担任として子どもたちの前に立ちました。「先生のこと知ってるかな？」本校5年目になることもあり、知っているという子もいました。「そう、おさだたかし先生。でも本当は…」「先生、なに？」間をおいて「つちのこ先生です。」「えっ！どうして？」「孝という字をよく見て。」次の瞬間、「わかった。本当だ。つちのこだ。」と合点がいったという子どもたちの元気な声が聞こえてきました。この日、子どもたちは、嬉しそうに家族に話してくれたそうです。

今年、創立30周年を迎える甘利小で教師「つちのこ」は、変わらず子どもたちの前に立っています。
(韮崎市立甘利小学校)



支え合うこと
松永 二郎

我が家には双子の犬がいます。名前は「空(クウ)」と「海(カイ)」。コーギーとテリアとのミックス犬です。兄のクウは、おっとりとしたマイペース型。弟のカイは、お兄ちゃん大好きなやんちゃな性格です。今日も、10kgを超す巨体を揺らしながら、我が家を闊歩しています。

彼らが、我が家の一員となって、もうすぐ3年。ふと目にした里親募集のホームページに、ちょこんと並んで映る2頭を発見した妻と娘は、その姿に「一目惚れ」。早速、我が家で飼うことになりました。

埼玉の保健所で保護された彼らは、様々なピンチを乗り越え、支え合って生きてきたようです。行動はいつも一緒。ふとしたしぐさにお互いを思いやる気持ちが伝わってきます。今も私の足元で、寄り添うようにぐっすり眠っています。

現在、推定5歳の彼らは、人間の年齢でいうと40歳前後だそうです。ちょうど私も不惑を迎えました。彼らを見本に、私も前を向いて、頑張っていきたいと思います。
(富士吉田市立吉田中学校)

「第10回わたしたちの研究室」の作品を募集しています!!
県立考古博物館

この研究室は、県内の小学校、中学校および特別支援学校の小学部・中学部のいずれかに在籍する児童・生徒を対象とした、考古学に関する研究成果を募集・表彰し、広くその成果を発表する機会を設けることを目的としています。考古学の楽しさを知ってもらうとともに、調べる、まとめるという力をつけ、より一層の研究活動を推奨する機会とし、今年度で10回目を迎えます。

作品の内容は、山梨県の考古学や歴史学などの社会科歴史的分野に関係する研究成果を内容とし、学校外において未発表のもので、おおむね1年以内の研究成果を募集いたします。

募集の種別は、個人研究部門の小学校の部・中学校の部、団体研究部門の3つに分かれています。個人研究部門では、児童・生徒がそれぞれ自由なテーマで、又は教育課程において

統一したテーマで取り組んだ個人研究を対象とし、団体研究部門では、学級・学年・学校(部活動等を含む)で行った研究または統一したテーマのもとで研究した児童・生徒個人の成果をとりまとめたもの、あるいはその指導過程を対象とします。

夏休みの課題(自由研究)や総合的な学習の時間で取り組んだ歴史研究の成果を是非ご応募下さい。

**作品の応募期間は、
平成24年9月1日(土)～11月30日(金)までです。**

応募等に関する詳細は、当館ホームページをご覧になるか、県立考古博物館までお問い合わせ下さい。
TEL 055-266-3881 (山梨県立考古博物館)



昨年度最優秀賞(山梨県教育委員長賞)授与の様子



作品展示の様子(応募全作品を展示します)

コミュニケーション能力の素地を育む ～英語科教育と地域伝統文化の継承～

山梨市立岩手小学校

本校は、山梨市内西北部に位置し、西関東自動車道路の終点から、国道140号(雁坂道)で万力公園を過ぎ笛吹川沿いに2km程北に行った岩手地区にあります。岩手地区は、サクランボや巨峰などの果樹栽培が盛んです。学校は、三方(南・西・北)を山に囲まれた地区の真ん中にあり、地域の方々の学校への関心も高く、いろいろな面で協力をいただいています。

本校は、平成21年度から3年間、文部科学省指定「英語科を設置した教育課程特例校」として研究を進めてきました。また、平成になってから岩手小学校太鼓を通して、地域の伝統文化の継承にも取り組んでいます。

◇ 英語科への取組

今年は、話す・聞く・読む・書くの4技能の体験的な学びを授業の中に取り入れ、「コミュニケーション能力の素地を育

む英語科教育」を目指して研究を進めています。月曜日と水曜日には英語科で使用している多目的室から、児童の元気な声が響いてきます。月・水の英語科の授業をご覧になりたい方はいつでもおいでください。

◇ 岩手小学校太鼓への取組

岩手小学校太鼓には3～6年生が取り組んでいます。太鼓のメンバーは、毎年11月に切り替わり、6年生が下級生に太鼓の叩き方を伝えています。今年は、5月5日、大石神社の子ども御輿出発式での演奏を皮切りに、月に1回程度、様々なところで演奏をしていく予定です。

この英語科と太鼓の取組などにより、本校児童は、人から注目をあびる緊張感の中で自分を表現する活動に取り組んでいます。地域の方々に見守られながら…。



5年生英語科の授業風景



5月5日の岩手小学校太鼓の演奏風景

NIE (教育に新聞を) の実践

市川三郷町立市川南中学校

本校は、鰍沢口駅から割石峠に向かう途中の高台に位置する、全校生徒31名の小規模校です。本校では、平成22・23年度の2年間、日本新聞協会より指定を受け、NIE(教育に新聞を)の実践を行ってきました。校内研究の重点でもある「かかわり合い」をキーワードとして、新聞を活用した授業づくりを進め、生徒の学習の技能(読解力など)や学ぶ意欲の向上を図ってきました。

◇ 新聞が身近にある環境づくり

提供された6紙(山日・朝日・毎日・読売・産経・日経)の閲覧コーナーを設け、生徒が手に取って見られるようにしました。

◇ かかわり合いに重点をおいたNIEの授業

すべての教壇教諭が教科または総合的な学習の時間において研究授業を行いました。

内容は以下の通りです。

- ①1年英語「新聞を使っての言語活動」
- ②1年総合「環境新聞作りに取り組もう」
- ③2年国語「根拠を明らかにして自分の考えを書こう」
- ④2年総合「福祉の仕事を調べて新聞にまとめよう」
- ⑤3年社会「私たちの生活と経済」
- ⑥3年総合「国際理解：世界遺産を調べよう」



新聞記事から読みとれることを確認



グループでの意見交換

みんなの笑顔のために

— 総合教育センター—相談支援部

こすもす教室（適応指導教室）—

不登校の実態と

こすもす教室の活動について

文部科学省が行っている調査「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」によると、平成二十二年度に全国で約十二万人が不登校状態にあったと報告されています。本県においても、関係者の懸命な取り組みにより不登校児童生徒の総数は減少傾向にあるものの、依然として憂慮すべき状態にあります。

山梨県総合教育センター相談支援部に所属する石和・葺崎・都留の各こすもす教室では、児童生徒の自立心を養い、再登校できるための意欲を高めることを目的として次のような活動を行っています。

- 集団生活への適応指導
- 学力補充のための援助指導
- 本人や保護者に対する教育相談
- ひきこもりがちな児童生徒に対する訪問指導
- 不登校指導に関する調査研究

こすもす教室の経営方針

こすもす教室は、心にエネルギーをためるとこ

ろであると考えています。みんなが一日も早く再登校できるよう、次のことを心がけながら指導に当たっています。

一 本人、保護者の心の安定を図る

「保護者が笑顔になれば、子どもも笑顔になる」私たちは、そう考えています。不登校という状態は誰のせいでもないこと、無駄な時間ではなく、何かを取り戻すために必要な時間であること、保護者が一人で頑張らなくてもたくさんの協力者がいることなどを理解してもらえよう面接相談を行っています。

また、児童生徒本人に対しても日常的に教育相談を行うとともに、スポーツ教室、クッキング、創作活動、こすもす教室合同キャンプなど様々な交流やふれあい活動を実施しています。笑顔にあふれた日常を取り戻すことが指導の第一歩であると考えているからです。

二 環境の調整を図る

再登校できるようにするためには環境の調整が必要ですが、学校や関係機関と連携をとりながら、不登校となった直接的な原因の除去を行うとともに、こすもす教室が「ここなら安心して居られる」という心の居場所になることが必要です。そのためには、「今できることから始めればよい」とい

う発想と「チャレンジすればできることは増えていく」という意識が大切だと考えています。また、再登校にチャレンジできる段階になったら在籍校の先生方と「折り合いのつけどころ」を協議します。「ここまでならできる」という子どもの実態と、「どこまでなら認められる」という学校の状況をすり合わせ、子どもが居られる環境づくりをします。

三 自己改革の支援

柔軟なものの見方や考え方の獲得、人間関係力の構築、自尊感情の獲得、社会的スキルの獲得など自己改革のために解決すべき課題は多々あります。こすもす教室では日常的な教育相談や仲間とのふれあいばかりでなく、必要に応じて構成的グループエンカウンターやソーシヤルスキルトレーニング等を実施しながらこの課題に取り組んでいます。また、学習への不安を取り除くことも再登校への重要な支援策と考え、在籍校の教育課程を確認しながら指導を行っています。

「もう一歩前に踏み出したい」という意識を引き出すために、また、みんなの笑顔のために、愛情と使命感をもって日々の指導に当たっています。

新委員長に

小林 久氏が就任

県教育委員会では、久保嶋正子委員長の任期満了に伴い、後任の第七十五代委員長に小林久氏を選任し、七月十日に就任しました。



新委員長
小林 久

いじめ問題が日本中の関心となり、教育委員会がこれほど注目された時があったでしょう。まさにこの重大な局面で教育委員長に就任した重責に身の引き締まる思いです。

生活の多様化や少子化の流れから、子供たちを取り巻く環境は以前に比べ格段に変わりました。学校に寄せる期待は増し、教職員の力量は高いものを求められます。親も子ども学校も大きなストレスを抱えているのが現状です。人と人の繋がりが希薄になってはいないでしょうか？

景気の低迷が長引き、震災後の復興もまだまだ始まったばかりです。未来を背負って立つ地域の宝である子供たちが、故郷を愛し、誇りに思い、恩返ししたくなるような環境を作るのが大人たちの責務です。

民間会社の経営者として、教育に対して役立つことがあれば何でもする覚悟です。開かれた教育委員会を目指し、子供たちを取り巻くすべての人たちのために精一杯働きます。

関係者各位のご指導をよろしくお願い致します。

新委員に

長田 由布紀氏が就任

県教育委員会では、久保嶋正子委員長の任期満了に伴い、後任の教育委員として長田由布紀氏が知事から任命されました。新委員の任期は平成二十四年七月十日から平成二十八年七月九日までです。



新委員
長田 由布紀

文部科学省が提唱する「生きる力」を育む新学習指導要領がスタートしていますね。私なりに「生きる力」について考えました。そして、何より基本的信頼が育まれていることが重要ではないかと思ひ至りました。さらに、それは自分以外の他者に絶対的に愛された、という経験を持つことで得られるものと考えます。

一方で、新学習指導要領では「言語活動の充実」が謳われています。ことばの力をつけることはとても大切なことです。でも、そもそも人に自分を伝えたいとか人を理解したいという気持ちは、他者に興味を持つことであり、それが、基本的信頼ととても近いところにあるように感じます。

家庭や地域のあり方が多様である今、子どもたちの絶対的に愛された経験が減っているように感じています。そばに居る誰かひとりでも、心からその子どもを大切に思うことが求められているのです。それが「生きる力」。教育の現場でどこまでできるのか、今、教育委員として一生懸命に考えていきたいと思っています。

新県立図書館では授業に使える本をセットでお貸しします。

山梨県立図書館



児童資料コーナー・子ども読書支援センター

11月の新図書館開館とともに開設される子ども読書支援センターでは、学校向けサービスとして従来の団体貸出に加え「学校支援セット貸出」を始めます。対象は、小学校から高等学校、特別支援学校です。また、貸出セットの構成は、「調べるセット」と「朝の読書推進セット」の2つから成ります。

「調べるセット」は、調べ学習をサポートするためのセットです。山梨県、戦争と平和、障害の理解、環境問題など身近なものから普遍的なものまで小学校と中・高等学校別に15テーマを用意しました。

「朝の読書推進セット」は、朝読など全校一斉読書活動をサポートするためのセットです。小学校(低・中・高)と中・高等学校向けを用意しました。

開館に向け、テーマ、内容、利用方法等についてご案内していきますので、ご活用ください。

11月11日(日)甲府駅北口に新県立図書館が開館いたします。阿刀田館長記念講演「読書はおいしいぞ」を皮切りに、様々なイベントが行われますので、皆さんぜひご来館ください。

山梨の文化財

国指定無形民俗文化財

吉田の火祭 (富士吉田市上吉田)

(平成二十四年三月八日)

吉田の火祭は、富士吉田市上吉田にある北口本宮富士浅間神社とその摂社の諏訪神社の祭りで、富士信仰の隆盛とともに伝承されてきた火祭りである。

この祭りは、七月一日に行われる富士山のお山開きに対する、お山仕舞いの祭りであり、巨大な富士山型の神輿が勇壮に渡御し、八月二十六日夜には、市中に並び立てられた高さ約三メートル、八十本ほどの大松明が盛大に燃やされる。大松明に点火されると富士山の山小屋でも火が焚かれ、山と町とが一体となって火祭りが繰り広げられる。また、火祭りには、関東一円から訪れる富士講の人たちも参加し、宿坊の入口や大松明を囲んで、「お伝え」と呼ばれる経典を読み上げるなど講の行事を行う。



また、上吉田では、祭りに際し、清浄であることが強く求められる。前年の火祭りから一年間に不幸のあつた家の者は、火や神輿を見ることを避けるなどの禁忌が守られながら火祭りが伝承されている。

主な行事予定

県立美術館

■特別展

「大倉集古館名品展
豪快なる大倉財閥の美術コレクション」

10/13 ~ 11/25

県立博物館

■企画展

「黄金の国々
— 甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山 —」

10/6 ~ 12/3

県立考古博物館

■開館30周年記念特別展
「インカ帝国展
— マチユピチュ発見100年 —」

9/18 ~ 11/14

県立文学館

■特設展

「歿後五十年 飯田蛇笏展
くろがねの秋の風鈴鳴りにけり」

9/29 ~ 11/25

表紙を飾る



山梨県立
やまびこ支援学校

高等部2年
河野 正一

作品タイトル
「自画像」

鉛筆を使って自分の顔を描きました。バランスよく輪郭を描くことや髪の毛の生え方や向きに気をつけて描くことが難しかったけれど、丁寧に描きました。

できあがった時に、友達や先生から「すごく似ている」と言われて嬉しかったです。

指導者：河西 完 教諭

「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。

アドレス：kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp FAX：055 - 223 - 1744

◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。

URL：http://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku/46150769857.html